

インターネットでの 公文書開示に向けて

問 インターネットによる公文書の開示請求を、全国の市町村に先駆けて実施しては。

答 平成15年度を稼働目標としている本市の文書管理システムは、文書の管理を基本として情報公開を可能にしようとするものだ。稼働により、システム内にある公文書をホームページ上から開示請求することができるようになる。



手軽に公文書を開示請求

市公用車

問 一元管理で効率的運用へ
利用率の低い公用車を一

元管理し、リース制を導入する方針が示されたが、管理方法は経費削減の見込みと導入時期は。

答 原則としてすべての軽自動車リース車両に切り替えて集中管理し、どの部局でも予約の上使用できるようにしていく。当面は本庁部局二百六十台のうち二〇〇％程度が削減でき、十年間で一億円程度の削減が見込まれるとともに、購入、車検や交通事故処理等にかかる職員負担をなくすことができる。平成14年度中の実施を目指したい。

まちづくり

公共事業に

住民意見の反映を

問 都市計画道路には、計画決定後長期間事業化に至っていないものが少なくないが、将来展望に立ち積極的に見直すべきでは、住民意見を反映できる制度づくりを。

答 未着手の道路計画は、さまざまな利害関係が絡むなど難しい問題があるが、今日的な視点から道路網機能を再点検する必要があると考えている。住民参加は公共事業全体で進める



求められる公用車の有効利用



必要があり、さまざまな手法で取り組みたい。今後、影響を受ける方々の範囲を考慮しながら、住民意見を市民意見にしていく方向での意見調整が求められており、情報公開や市民意見を幅広く聴取する努力を、公共投資各部門で行っていききたい。

公共工事入札

ISO認証取得を重視

問 公共工事から不適合業者を排除するため、品質管理・保証の国際規格であるISO9000シリーズの認証取得を工事

受注者に求めていく考えは。

答 平成13年度から、認証取得業者には、公募型指名競争入札参加資格である同種工事施行実績のうち請負代金額の実績を免除し、さらに14年度からは、入札の一部を認証取得業者に限定している。15年度は経営事項評価点数加算等の優遇措置を検討することとしており、今後一層、ISO認証取得を重視する方向で考えたい。

東部余熱利用健康増進施設

問 東部余熱利用健康増進施設は、市東部地域の活性化と市民憩いの場として期待されているが、今後の整備スケジュールは、民間事業者が自由な発想から提案した事業を実施しては。

答 PFI方式を念頭に、今後一年程度をかけて契約相手を選定していく予定だ。施設周辺では企業立地が進んでおり、今後増加する従業員への昼食のサービス提供等も含め、柔軟性を持たせて提案を受け入れていきたい。

汚水処理施設

柔軟な運用でコスト削減を

問 事業コスト削減のため、公共下水道と農業集落排水施設の接続に本市でも取り組んでは。

答 平成14年度から農業集落排水事業も下水道局で所管しており、異なる事業間での接続もコスト削減につながる可能性がある。当該地区があれば局内で積極的な調整に努めるとともに、建設や維持管理全般にわたり一層の縮減を図りながら、効率的な事業運営に努めたい。

調整区域内の下水道整備 平成15年度実施へ

問 下水道事業整備区域に、市街化調整区域内の住宅密集地等投資効率の高い地区を加えては。



下水道網の整備推進を